

# 日本中東学会ニューズレター

**JAMES**  
NEWSLETTER



**No.157**  
2019/12/25

## 目 次

理事会報告 .....	1
第 36 回年次大会の開催について .....	3
第 25 回公開講演会報告 .....	4
韓国中東学会 (KAMES) 国際会議参加報告 .....	6
『日本中東学会年報 (AJAMES)』編集委員会報告 .....	7
寄贈図書 .....	7
会員の異動 .....	8
事務局より .....	9
編集後記 .....	9

## 理事会報告

### 【2019 年度第 1 回理事会報告】

日時：2019 年 10 月 15 日 (火) 18:00～20:30

場所：早稲田大学戸山キャンパス 39 号館 6 階第 7 会議室

出席者：秋葉淳、江川ひかり、大稔哲也、勝沼聡、菊地達也、黒木英充、近藤信彰、  
三沢伸生、安田慎、横田貴之

欠席者：岩崎えり奈、末近浩太、東長靖、錦田愛子、森山央朗、山岸智子 (委任状あり)

#### [報告事項]

1. AJAMES 編集委員会活動報告並びに 2019 年度 AJAMES 編集委員会活動計画の報告があった。
2. 国際交流事業について、2019 年度 KAMES 国際大会参加状況と AFMA 組織の拡大について報告があった。
3. 広報委員会事業について、HP 更新、データベース更新、ツイッターアカウント (2019 年 5 月に運用開始) について報告があった。
4. ニュースレター156 号の刊行と、次号の準備状況について報告があった。
5. 大稔会長より、東京都主催在京イスラム諸国外交官との情報連絡会 (2019 年 5 月 29 日) と首相官邸での在京イスラム諸国外交団とのイフタール (2019 年 6 月 3 日) に日本中東学会会長として参加したことについて報告があった。
6. 2019 年 11 月 16 日 (日) に山口市市民会館ホールで開催予定の 2019 年度第 25 回公開講演会について報告があった。
7. 2020 年の第 36 回年次大会 (桜美林大学) の第 1 回、第 2 回の実行委員会の活動と大会準備状況について報告があった。
8. 会員の異動について報告があった。

#### [審議事項]

1. 事務局業務の外部委託に向けて今後具体的な検討を進めることが承認された。
2. 前納制廃止を進めることが決定され、2020 年度総会に提案することが承認された。
3. 2020 年度第 26 回公開講演会の第一次案について説明があり、案に基づいて企画を進めること、開催地については首都圏以外での開催に向けてさらなる検討をすることが確認された。なお、21 年度の公開講演会について科研費の申請をするかどうかは 2020 年 5 月の理事会で議論することが決定された。
4. 総会出欠届及び委任状の電子化を導入することが決定された。出欠届は Google フォームを利用することが承認された。
5. 次期事務局への移行時に事務局口座を整理する方向で準備することが確認された。
6. 新規入会と会員会費特例の適用が承認された。
7. 学会の Paypal 口座の継承について、学会事務の業務委託が確定するまで保留することが確認された。また、現在、東京外国語大学に保管されている AJAMES バックナンバーの在庫を、2020 年度の中東学会大会で配布したのちに、学会の倉庫に納めることが確認された。

## 第 36 回年次大会の開催について

前号（156 号）のニューズレターでお知らせしましたように、2020 年度の日本中東学会第 36 回年次大会は、桜美林大学にて開催されます。大会の 1 日目が公開企画と総会、懇親会、2 日目が研究発表（企画セッション含む）になります。どうぞよろしくご参集ください。

第 36 回年次大会の開催日時と場所は、下記の通りです。

開催日時：2020 年 5 月 16 日（土）・17 日（日）

開催場所：桜美林大学新宿キャンパス（東京都新宿区百人町 3 丁目 23-1）

場所は下記の URL でご確認ください。

<https://www.obirin.ac.jp/access/shinjuku/>

### 大会実行委員会

委員長：加藤朗

事務局長：鷹木恵子

委員：堀井聡江、平寛多朗、細田和江、長澤栄治、近藤信彰、後藤絵美

### 1. 研究発表の申し込みについて

研究発表の申し込みは、個人研究発表、企画セッションともに、12 月 20 日（金）をもって締め切りました。発表の可否については、大会実行委員会から追ってお知らせ申し上げます。

※応募された方には、年次大会実行委員会から 1 週間以内に受信確認のメールを差し上げます。受信確認メールが届かない場合は、実行委員会事務局まで以下のメールアドレス宛に必ずご一報ください。

連絡先メールアドレス：[james2020obirin\[at\]gmail.com](mailto:james2020obirin[at]gmail.com)

### 2. 託児所

託児所の利用をご希望の方は、実行委員会事務局までお申し出ください。申し込みの締め切りにつきましては、メーリングリストなどで追って通知いたします。

### 3. 宿泊について

東京都内の宿は常時混み合っております。年次大会に参加される予定の方は、十分な余裕をもって早めに宿を手配されることをお勧めいたします。

以上、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

連絡先：

日本中東学会第 36 回年次大会実行委員会事務局

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

桜美林大学リベラルアーツ学群 鷹木恵子研究室

Tel：042-797-9293（鷹木研究室直通）／042-797-1887（堀井研究室直通）

E-mail：james2020obirin[at]gmail.com

（大会実行委員長 加藤朗）

## 第 25 回公開講演会報告

日本中東学会第 25 回公開講演会「素顔の中東・イスラーム」

日時：2019 年 11 月 17 日（日） 14:30～18:30

会場：山口市民会館小ホール

講演者：

藤村泰夫（山口県立西京高等学校教諭）

黒木英充（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授）

鳥山純子（立命館大学国際関係学部准教授）

山口県立西京高等学校・柳井高等学校生徒有志

鈴木均（イラン研究者・アジア経済研究所）

司会：森山央朗

後援：山口県、山口県教育委員会、山口県高等学校教育研究会社会部会、「地域から考える世界史」プロジェクト in 山口

第 25 回公開講演会を山口市の山口市民会館小ホールにて開催いたしました。今回のテーマは「素顔の中東・イスラーム」でした。中東に暮らすムスリムたちは、日本に暮らす我々とは大きく異なった考えや習慣に従って暮らす異質な人々と思われがちですが、彼らの普段の生活には我々の生活と共通することも多く、当たり前の日常を生きています。そんな彼らを我々と変わらない普通の人間として見ていこうというのが、今回のテーマに込められた意図でした。こうしたテーマの下、本講演会は 4 名の講演者がそれぞれ 30 分程度の講演を行い、開催地の山口県の県立高校（西京高校・柳井高校）の生徒有志が高校生の視点からイスラームやムスリムについてのグループ発表を披露し、それらの講演・発表に基づいて質疑と討論が繰り上げられるという大変にボリュームのある



イベントとなりました。全体で4時間以上に及んだにもかかわらず、高校生から年配の方に至る約30名の色々な人々が熱心に話を聞いてくださり、また積極的に質問やコメントをあげていただきました。

最初に登壇した藤村泰夫教諭は、高校の社会科教師としての長年の教育経験に基づいて「世界史学習におけるヨーロッパとイスラームの関係は、どのように描かれているか」と題する講演を行い、高校世界史の教科書が記述するイスラームの歴史はヨーロッパとの対立や戦争に偏っており、共存や共謀を含んだムスリムとキリスト教徒の



複雑で豊かな関係が十分に述べられていないという問題を指摘しました。続いて登壇した鳥山純子会員は、「ムスリムの日常生活、あるいはイスラームのある日常:あるエジプトの家族の話」と題して、自身がその一員として暮らしたカイロの下町のあるムスリム一家の日常と変化を物語り、「素顔のイスラーム」

の一面を活写しました。「アッラー」といったイスラーム的な言葉が普段の何気ない会話に頻出する彼らの日常生活は一見とてもイスラーム的に見えるが、だからといって、常にイスラームというものを深刻に考えているわけでも、我々と比べて特段に宗教的であるとは言いきれないという説明は聴衆を強く惹きつけました。3番目の登壇者となった黒木英充会員の講演は、「イスラームは果たして問題なのか? 50年先の世界を見通して」というタイトルで、昨今のニュースを騒がせてきたイスラーム/ムスリムが関わっている(とされる)事件や紛争は、イスラームという宗教自体に起因するのではなく、ムスリムたちの間の、あるいは、ムスリムたちを取り巻く政治や社会の様々な問題に起因し、それらの問題は我々にも深く関わっていることを豊富な図版と事例を交えて語りました。

ここまでの3本の講演を講演会全体の第1部とし、休憩を挟んだ第2部では「山口

と中東・イスラーム」を1つのテーマとして、高校生によるグループ発表と鈴木均会員の講演が行われました。高校生のグループ発表は2つのグループによって行われ、第1グループの西京高校の生徒たちは、山口に暮らすムスリムの留学生たちへのアンケート調査に基づき、彼らが山口での暮らしにどのような印象を抱き、どのような問題を感じているのかを紹介しました。第2グループの柳井高校の生徒たちは、ムスリムと良い関係を築くためにどのような理解と



配慮をするべきかについて、具体的に想定される様々な事態へのシミュレーションを交えて考察しました。そして、最後の登壇者となった鈴木均会員は、「近代日本とイラン・アフガニスタンの関係史から」と題する講演を行い、多くの困難に見舞われたイランとアフガニスタンの近代史を解説し、近代日本とイラン・アフガニスタンの関係を紹介しました。そのなかで、山口県出身で1930年代のアフガニスタンに農業援助のために数年間滞在した農学者、尾崎三雄（1985年没）が書き残した貴重な資料にも言及し、中東・イスラームと山口のつながりに思いをはせました。

以上が講演会の概要です。後援の山口県高等学校教育研究会社会部会が聴衆の方々にアンケートを採ってくださり、その結果を共有させていただきました。約30名の聴衆のうち12名の方が回答を寄せてくださり、「とても楽しく聴講できた」「全体的にアットホームで質問しやすい雰囲気でもよかった」など概ね好評価をいただきました。しかし、4人の講演者に高校生のグループ発表2本というボリュームを考えると、より多くの聴衆を集めることができれば、より有意義になったと惜しまれます。とまれ、講演・発表を引き受けてくださった藤村教諭、西京・柳井両高校の生徒の皆さん、鳥山、黒木、鈴木各会員に改めて感謝いたします。また、高校生の調査をサポートしてくださった中野祥子氏（山口大学留学生センター助教）、アルバイトとして受付やマイク持ちをしてくださった山口大学の学生の皆さん、そして、ご多忙にもかかわらず山口側での準備にお骨折りいただいた磯辺賢治教諭（山口県立宇部工業高等学校定時制教頭）に心から御礼申し上げます。（森山央朗 企画担当理事）

## 韓国中東学会（KAMES）国際会議参加報告

2019年11月22日から24日にかけて、韓国・ソウル市のGrand Ambassador Hotelと韓国外国語大学校（Hankuk University of Foreign Studies (HUFS)）において、韓国中東学会（KAMES）の40周年を記念して国際会議“Rising Conflict in the Period of New Diaspora and Geo-Economic Transitions in the Middle East”が開催された。今年度は例年とは異なり、日本中東学会には指名招待の形で参加が呼びかけられ、黒木英充国際交流委員長、岩崎えり奈国際交流委員、鷺見朗子会員が発表者として招聘され、安田慎が事務局として招聘された。初日には歓迎のディナーが行われ、2日目には韓国中東学会会長の挨拶に続き、在韓国ヨルダン大使と外国参加者を代表して日本中東学会から黒木英充によるKAMES創立40周年に対する祝辞が述べられた。その後、Anoush EHTESHAMI氏（英国・ダラム大学）による基調講演“The Contestation for Power in the Middle East”が行われた。午後には8セッション29の研究発表が行われ、3日目には全体の総括のセッションで締めくくられた。

中東研究の国際的な潮流を反映し、難民問題や国際関係論といった近年の国際社会での関心に焦点を当てる発表が数多く見られた一方で、語学教育や文学のパネルや発表もあり、韓国中東学会における地域研究の強みを知ることにもなった。政治・経済関係でも多様なトピックを議論できる研究者を揃えるとともに、韓国を事例とする研究発表も散見され、韓国中東学会の所属メンバーの多様性を示すものとなっていた。

中東諸国内外からバランスよく研究者を招聘し、さらに韓国の多様な分野の中東研究者たちとの交流を行う状況や、院生・ポスドクがさまざまな形で研究議論や会議運営に関わっており、韓国中東学会の次世代が育っていることを印象付けるものであった。さらに、参加者のなかにも HUFSS を中心に学部・院生クラスの参加が多数見られる他にも、ジェンダー・バランスという観点でも女性研究者による積極的な参画が見られ、当該地域や研究分野における強い興味関心を印象付けるものであった。

日本中東学会からも黒木英充国際交流委員長が日本中東学会を代表して韓国中東学会の 40 周年に対する祝辞の挨拶を行った他にも、黒木英充、岩崎えり奈、鷲見朗子の 3 名による研究発表が行われ、韓国中東学会側の討議者や参加者との活発な議論が行われた。特に、昨今の日韓関係が横たわりながらも、韓国中東学会との変わらない連携や研究者同士の交流の強化が確認された点は重要である。さらに、韓国や中東諸国を中心に世界各地から参集した国際会議参加者たちとともに、さまざまなレベルでの交流が図られ、東アジアを舞台とした中東研究の発信が行えたものと思える。

来年度以降も日本中東学会との学術交流を促進するだけでなく、より多様なレベルでの国際的な学術交流の促進の熟成を願ってやまない。

(安田慎 事務局長)

## 『日本中東学会年報 (AJAMES)』編集委員会報告

- ・ ただいま、35-2 号の編集を行っております。論文 3 本、研究ノート 5 本、博論要旨 1 本を掲載予定です。来年 2 月には刊行の予定です。
- ・ 36-1 号の投稿締め切りは、12 月 1 日でした。多くの投稿をいただき、ありがとうございました。現在、原稿の審査を行っています。
- ・ 36-2 号の投稿締め切りは来年 6 月 1 日です。欧文の特集を含め、皆様の御投稿をお待ち申し上げます。
- ・ 本誌に関するお問い合わせ先、原稿投稿先は以下のとおりです。

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1  
明治大学情報コミュニケーション学部 横田貴之気付  
『日本中東学会年報』編集委員会  
ajames-editor@james1985.org

(横田貴之 AJAMES 編集委員長)

## 寄贈図書

### 【単行本】

Hiroshi NAWATA (ed.), Human Resources and Engineering in the Post-oil Era: A Search for Viable Future Societies in Japan and Oil-rich Countries of the Middle East. Shoukadoh Book Sellers, 2015.

小杉泰 (編訳) 『ムハンマドのことは ハディース (岩波文庫 青 824-1)』岩波書店、

2019

縄田浩志 (編)『サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの 50 年 - 「みられる私」  
より「みる私」』河出書房新社、2019 年

小野仁美『イスラーム法の子ども観』慶應義塾大学出版会、2019 年

**【逐次刊行物・ジャーナル・その他】**

『アラブ・イスラム研究』17 号、関西アラブ研究会、2019 年

『季刊アラブ』168 号、日本アラブ協会、2019 年 7 月

『季刊アラブ』169 号、日本アラブ協会、2019 年 10 月

**会員の異動**

**【新入会員】**

戸澤 典子

金子 由佳

ターリク・フセイン・ハカミー

木村 風雅

真殿 琴子

高橋 稜央

岩元 恕文

Mallett Alex Phillip John

**【連絡先をご存じないですか】**

下記の会員の方々は、連絡先が不明なため、学会からのお知らせなどをお届けすることができないでおります。連絡先をご存じの方は、学会事務局までご連絡いただけますよう、ご面倒でもご本人にお伝えいただければ幸いです。

武藤幸治

田中好子

森田 昌宏

餅井 雅大

瀬戸 邦弘

MORRISON Scott

奥田 敦

苗村 卓哉

横田 吉昭

西舘 康平

川上 重夫

アレズ ファクレジャハニ

斎藤 正道

横内 吾郎

Khalil Dahbi

タキデ モハマッド

李 若非

岡野 恭子

角田 紘美

高橋 信一郎

蔣 旭棟



## 事務局より

### 【年会費長期滞納中の会員の皆様へ】

日本中東学会細則 I-3 に定めるところにしたいがい、長期滞納者（昨年度分から遡り3年間以上年会費を滞納中の会員。今年度の場合 2016～18年度分、あるいはそれ以上の年会費を滞納中の会員）は、理事会による承認を経た後に退会（会員資格を喪失）となります。長期滞納者に該当する会員の皆様には、個別にメールによりその旨お知らせしておりますので、すみやかな年会費の納入を宜しくお願い申し上げます。

また、ポストクなど常職についていない方には会費減免の制度もございますのでご活用ください。（学会ホームページの会費納入の項をご参照ください）

### 【銀行口座・インターネットバンキングからも学会費をご納入いただけます】

名簿と同封で2019年度分の学会費振込用紙を送付いたします。ゆうちょ銀行窓口・ATMよりお早目の納入をお願いいたします。

インターネットバンキングや通常の銀行振り込みをご希望の方は、三井住友銀行渋谷支店(普)5346808か、ゆうちょ銀行〇一九店(当)0161096宛てにお振込みください。

振込人名をもとに納入状況を管理しておりますので、学会に登録されているお名前以外の口座からお振込みされる方は、事務局までご一報ください。（安田慎 事務局長）

## 編集後記

年末ぎりぎりの発行になってしまい、多方面にご迷惑をおかけしました。皆様よいお年をお迎えください。

（秋葉淳 ニュースレター担当理事）

日本中東学会ニュースレター 第157号

発行日 2019年12月25日

発行所 日本中東学会事務局

日本中東学会事務局

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300

高崎経済大学 安田慎研究室

E-mail: james@james1985.org

<http://www.james1985.org/>

郵便振替口座：00140-0-161096(日本中東学会)

銀行口座：三井住友銀行渋谷支店(普)5346808

(日本中東学会)

ゆうちょ銀行口座：〇一九店(当)0161096

(ニホンチュウトウガクカイ)